



## 40. 測 量 章

所属： \_\_\_\_\_ 第 \_\_\_\_\_ 団 \_\_\_\_\_ 隊 スカウト氏名： \_\_\_\_\_

	考 査 細 目	考 査 方 法	合 格 年 月 日	認 印
(1)	歩測が誤差5%以内で正しく行えること。(草地、道路、砂礫地など地表の状況が異なる200m×200m以上の平らな場所で、それぞれあらかじめ定められた2点間を3回歩測し、誤差の平均が5%以内であること)	実演		
(2)	簡易(見通し式)測量法を知り、相似三角形を利用して川幅が測定できること。	実演		
(3)	高さの測定法を3種以上知り、その内2つ以上を実演すること。	実演		
(4)	次の簡易測量器を自分で作り、実際に使用できること。 ア 仰角簡易測器および正切簡易測器 イ 厚紙(3cm×31cm)に次の縮尺の目盛りを付けた簡易直定規を作成 1/200、1/250、1/500	作品(簡易測量器)の提出実演		
(5)	ピタゴラスの定理を応用して、巻尺またはコンベックスを使って、直角を出す方法を熟知する。	口述または記述 実演させてもよい		
(6)	自分の家あるいは隊本部付近のおもな建物、鉄道、道路、その他目標となる地物を含む2km×1km程度の地域の実測図をコンパス、自製の測量器、歩測等を利用して作製(縮尺1/1200~1/1500)し、野帳その他の資料を添えて提出すること。	報告書(実測図)の提出		
(7)	トランシットを実際に操作し、歩測簡易測器で測量した結果との相違を知る。	実演		

考査細目のすべてに合格したことを証明します。

年 月 日 技能章考査員 \_\_\_\_\_ 印